

国土交通経済（平成 15 年 1 1 月・1 2 月分）の概況

【公共工事受注（1 2 月）】

～総じて低調に推移。

公共機関からの受注工事額（1 件 500 万円以上の工事）は、平成 15 年 1-3 月期は対前年同期比 16.1%減少、4-6 月期同 13.1%減少、7-9 月期同 18.5%減少、10-12 月期同 18.1%減少となった。

【住宅建設（1 2 月）】

～おおむね横ばい。

新設住宅着工戸数は、総計 100,826 戸で対前年同月比 9.4%増加（先月の減少から再び増加）。季節調整済み年率換算値の推移をみると、平成 15 年 1-3 月期 1,151 千戸、4-6 月期 1,189 千戸、7-9 月期 1,132 千戸、10-12 月期 1,166 千戸となった。

【民間非住宅建設（1 2 月）】

～持ち直している。

民間非居住用建築物着工床面積の推移をみると、平成 14 年計は対前年比 5.4%減少であったが、平成 15 年 1-3 月期 対前年同期比 3.0%増加、4-6 月期 同 0.8%増加、7-9 月 同 9.3%増加 10-12 月期 同 1.8%増加と 4 期連続で増加となり、平成 15 年計は対前年比 3.7%増加となった。

【貨物交通（1 1 月・1 2 月）】

（1）国内輸送

～航空は増加。トラック及び鉄道は微減。

トラック(特積)は、11 月前年同月比 0.1%減少（6 ヶ月ぶり）となり、トラック(一般)も、11 月同 3.1%減少（7 ヶ月ぶり）となった。宅配は、11 月同 1.0%減少(8 ヶ月ぶり)となった。鉄道は、12 月同 0.4%減少（2 ヶ月連続）。うちコンテナは、12 月同 8.0%増加（14 ヶ月連続）。航空(速報：3 社)は、12 月同 7.6%増加（7 ヶ月連続）となった。

（2）国際輸送

～航空は、輸出は大幅に増加。輸入も増加。

外国航空会社を含む航空貨物量(速報：成田・関空調べ)は、輸出が 12 月前年同月比 18.0%増加（2 ヶ月連続）。輸入は 12 月同 5.0%増加（3 ヶ月ぶり）となった。我が国航空会社の輸送量(速報 5 社：輸出+輸入)は、12 月同 9.5%増加(2 ヶ月連続)となった。

【旅客交通（1 1 月・1 2 月）】

～JRは微減。民鉄は微増。国際航空はSARSの影響が残り、減少しているが、減少幅は縮小した。国内航空は減少。

鉄道は、JR6 社が 11 月前年同月比 0.3%減少(2 ヶ月連続)となった。民鉄は、11 月同 0.1%増加(8 ヶ月連続)となった。国際航空(邦社)は、SARS の影響が残り、12 月同 4.0%減少（10 ヶ月連続）となった。一方、国内航空(速報：10 社)は、12 月同 6.5%減少(2 ヶ月連続)となった。

【観光（1 2 月）】

～国内旅行取扱額は増加。海外旅行取扱額はSARSの影響が残り、減少しているが、減少幅は縮小した。入国外客数の大幅な増加は継続している。

国内旅行取扱額(主要 50 社)は、12 月前年同月比 2.6%増加(7 ヶ月連続)となった。海外旅行取扱額(主要 50 社)は、SARS の影響が残り、12 月同 2.2%減少(10 ヶ月連続)となった。なお、入国外客数は、SARS による大幅減からの回復以後、12 月同 8.2%増加（5 ヶ月連続）と大幅な増加が継続している。